

「COPD」って何？

Vol. 1
Medical life advice

松本醫院
院長 松本英彦

最近、喫煙と健康についてのニュースが世間を騒がせていますが、喫煙者の15~20%がなるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気をご存知でしょうか？これはChronic Obstructive Lung Diseaseの略でそれぞれの頭文字をとってCOPD(シー・オー・ピー・ディー)と呼びます。日本人の3大死因である「がん」「心疾患」「脳血管障害」について、第4位をうかがう勢いで増加しています。肺癌と比較するとあまり馴染みのない病気ですが、この病気の別名はタバコ病です。喫煙との因果関係がこれほど明確な病気は他にありません。現在の有病率は8.5%で約530万人の未診断患者がいると言われていますが、実際に診断されているのはわずかに22万人です。

COPDでは吸った空気がなかなかき出せずに徐々に肺が膨張してきます。従って、肺つまり胸が大きくなり、肋間(肋骨と肋骨の間)が広がり横隔膜を下へ押し下げてきます。さらに呼吸困難が進むと胸や四肢の筋肉は痩せる一方です。通常若い頃から喫煙を始めた場合中年すぎたくらいに、息切れや呼吸困難が現れます。大部分の患者さんは両方の肺が病気にかかるので、息が速く吐けずに、また吐いた後で息を吸うことも困難です。

そのために、普段は平気でも階段を上がったり坂道を登ったり信号で走ったりして体を動かした時に、呼吸困難になるのが特徴です。



こんな症状の方は一回検査してみてもいいでしょうか？

- ①.40才以上で、タバコを吸っている。または吸っていた人。
- ②.しつこく咳がでて長引く人。
- ③.階段をのぼると息切れがする人など。

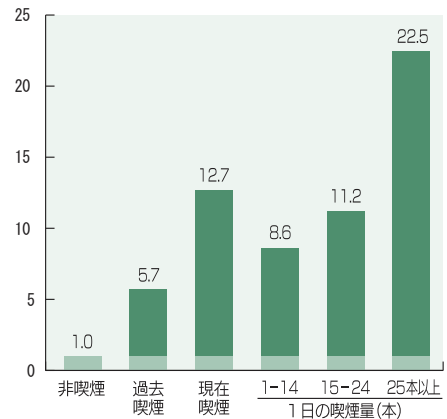
治療では気管支拡張剤を使いますが、進行すると治療抵抗性で重症化してしまいます。さらに悪化すると、酸素ボンベを常にもち歩かないと苦しくなります。そうってからではすでに手遅れです。もちろんタバコも吸えなくなります。一旦壊れた肺は治しようがないのです。



COPDは最終的には呼吸不全で死亡します。一日25本以上喫煙している人の死亡リスクは非喫煙者に22倍です(グラフ参照)。COPDを予防するには禁煙が一番です。禁煙はいくつになっても遅すぎることはありません。できるだけ早く禁煙すれば、COPDになる可能性を減らす事ができます。

喫煙とCOPD

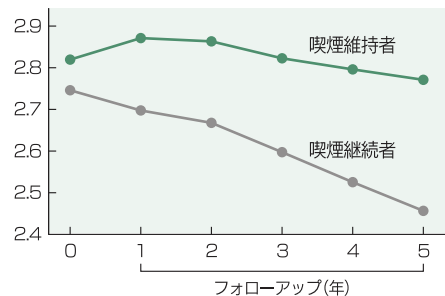
COPD死亡リスク(非喫煙者を基準)



喫煙量が多い程、COPD死亡リスクは高まり1日25本以上の喫煙では非喫煙に比べリスクは20倍以上になります。

喫煙とCOPD

気管支拡張薬投与後の肺機能1秒量(ℓ)



薬で治療をしても、喫煙を続けていると、肺機能はどんどん低下します。